

校長室より

二松学舎大学附属高等学校

校長 鵜飼敦之

「二松から飛翔へ」～一期一会～

2学期期末考査前～風邪に気を付けよう～

季節の変わり目を迎え、校内でも風邪やインフルエンザの罹患が目立ち始めています。先月は体育コースと1年生の一部で学級閉鎖の措置を取らざるを得ない状況となりました。現在も登校時にマスクを着用する生徒が増え、体調を気にかける姿が見受けられます。

インフルエンザは感染力が強く、疲労や睡眠不足が重なると罹患しやすくなります。うがい・手洗いの徹底、十分な睡眠、食事での栄養補給、教室の換気など、一つひとつの基本的な対策が大きな予防につながります。ご家庭でも引き続き健康管理へのご協力をお願いいたします。

まもなく2学期の期末考査が始まります。この時期に体調を崩すと、日頃の努力が十分に発揮できません。ぜひ計画的な学習とともに、無理のない生活リズムを心がけ、万全の状態で考査に臨んでください。

学校説明会終了～全12回のPRとおもてなし～

9月より開始した中学生・保護者向け学校説明会が、全12回の日程を無事に終えることができました。連日、多くの皆様にご参加いただき、本校の教育内容や生徒の学び、学校生活の様子に熱心に耳を傾けていただいたことに感謝申し上げます。

説明会では、私から本校の教育理念を中心にお話ししました。創立者・三島中洲先生の志を受け継ぐ二松学舎のミッション、そして三つのスクールポリシーを通して、本校が大切にしている「心を育て、学力を伸ばす」教育方針を具体的に紹介しました。特に本校の特色である「論語」教育については、多くの方が興味深く耳を傾けてくださり、生徒自身が選んで紹介する「今週の論語」も、本校ならではの取り組みとして聞いていただきました。

また、毎回、生徒ボランティアがPRや受付・案内・誘導などで活躍し、来校者の皆様に本校の雰囲気と、生徒がつくるあたたかな校風を感じていただく上で大きな役割を果たしてくれました。参加してくれた生徒の皆さんには心から感謝します。ありがとうございます。

説明会を通じて、多くの中学生が本校に関心を寄せ、来春の志望校として考えてくれることを願っています。



保護者懇親会～ご挨拶より～

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。季節は一気に冬を感じる頃となり、登校の際にはマフラー・手袋姿の生徒も増えてまいりました。

1年生と3年生の保護者懇親会が8日と29日に大学1号館13階ラウンジ及び地階食堂でそれぞれ開催されました。冒頭ご挨拶をさせていただきました。以下、主旨の紹介です。

1年生は入学から半年が過ぎ、学校生活にもすっかり慣れてきたようです。先日の閉幕した万博を例にお話した「AIと未来」の話題では、アンドロイドへの“意識の継承”という刺激的な展示についてご紹介しましたが、子育てこそが日々、未来へ「いのち」を託す営みであるということをお伝えしました。しかし、託すにあたって、子どもは親の思い通りに動く存在ではなく、自ら考え、悩み、成長していきます。だからこそ、家庭での励ましや寄り添いが、AIには決して代えられない「心の力」だと感じています。

一方、3年生は、いよいよ進路実現に向けた最終段階にあります。最近は自ら校長に、「面接練習をしてください」と申し出でくる生徒もいました。志望理由書には将来の夢や学びへの意欲が丁寧につづられ、模擬面接でも堂々とした姿を見せててくれています。まさに「学びて時に之を習う、亦た説ばしからずや」の言葉の通り、日々の積み重ねを力へと変えようとする姿勢に、大きな成長を感じています。

これから結果に一喜一憂する時期となります。ぜひご家庭での「大丈夫」「よく頑張っているね」という言葉で、温かく後押ししていただければと思います。本校でも、二松での集大成の時期、生徒一人ひとりに寄り添いながら支えてまいります。

懇親会では担任の先生方と日々の生徒の活躍の様子を共有していました。

